

## やましん歌壇掲載歌<第25回>

		平成26年3月~平成31年4月	令和1年5月~
短歌		H30年1月:一病とつき合いてはや半世紀	R4年6月:連れ合いと歩みこし日々半世紀
		遊行の門への錫杖とせむ:阿部京子選	はからいささやかコロナ禍の宴(*):井上菅子選
	掲載短歌	H30年2月:霧の朝佇む岸辺凍みこごり	R4年6月:春さなか芽吹く雑木々従えて
		鳥の一声静けさを裂く:阿部京子選	勇者のごと立つ辛夷の白し(*)大滝 保選
		H30年2月:中東で散りし友らの七回忌	
		雪の凍む朝この地で祈る:井上菅子選	
		H30年2月:恒例の暮れの作業の近づけり	
		竹馬の友の名リストより消せず:大滝 保選	
写真短歌(*)& 共同制作の写真短歌(**)	*:写真も短歌も自身の作品**:他人の写真に自身の短歌		(はわらいと歩みこし日々半世紀 はからいささやかつロナ湖の家  「本名属即と、山田亨 (a) (a) (4年) 科表 (4年) インタナル (4年)
作	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて110首(令和7年10月まで)
8	写真短歌	38作品(自身の作品:37+共同制作:1)	77作品(自身の作品:51+共同制作:26)